

# 栃事研究会報



第 83 号 平成 27 年 2 月 26 日発行  
栃木県公立小中学校事務職員研究協議会  
編集発行人 岡崎 信二

## <主な内容>

- ① 会長あいさつ、受賞者あいさつ
- ② 事務研究大会
- ③ ステージⅠ、Ⅱ
- ④ 栃事研セミナー、共同実施推進会議
- ⑤⑥ 新加入会員紹介 ほか

栃事研HP <http://tochijiken.org/>



## 今すべきことは何か、自ら考え行動を！！

栃事研会長 岡崎 信二

新年を迎え早一ヶ月が経ちました。会員の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年 1 月 2 月 5 日、宇都宮市文化会館において開催しました栃木県公立小中学校事務研究大会には多くの会員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、分科会、準備・運営にあられた塩谷地区、下都賀地区の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。大会では、サブテーマ「Here and Now! とちぎの学校事務」に基づき、「今すべきこと・・・」をキーワードとし、事務職員が、学校経営ビジョンの策定や実現に向けた活動に参画し、学校に、学校経営に不可欠な職員として活躍できるための具体的方策や学校事務の在り方を皆様と共に考えました。

栃事研ではこれまで研修の体系化に基づく研修活動、共同実施の全県実施に向けた取り組み、各関係諸機関や団体との連携等の活動を行ってきました。実践（行動）への準備は整いつつあります。大切なのは、事務職員一人一人の活動、行動を支える共同実施、事務研等の組織力であり、機を逃さず確実に活かすリーダーの役割は更に重要になります。各支部におかれましては改めて、未来を担う子どもたちのため、今何をすべきか、どう行動すればよいのかを考え、実践（行動）へ向かってさらなる前進をお願いいたします。本会も大会で得た成果を今後の活動に確実に反映させます。内容の充実に努めます。新たな領域へと歩みを進めます。ぜひご支援ご協力をお願いいたします。



## 「とちぎ教育賞」受賞おめでとうございます

### 栃木市立都賀中学校

事務長 伊與部雅紫

今回の受賞にあたり、驚きと共にこれまで支えて下さった皆様への感謝の気持ちで一杯です。

これまで学校事務のために何をしたかという反省もあり、身の引き締まる思いです。

### 那須塩原市立黒磯小学校

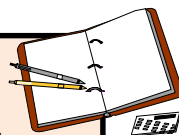
事務長 春山麻千子

とちぎ教育賞の受賞はたいへん光栄なことで恐縮しております。この受賞は、これまで苦楽を共にしてくれた事務職員の皆様のご指導のおかげと心から感謝しております。今後も感謝の思いを忘れず、微力ながら努力していきたいと思っております。

## 平成 26 年度 事務研究大会

『創造しよう！子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を』

Here and Now！とちぎの学校事務



今年の研究大会は、サブテーマを「Here and Now！とちぎの学校事務」とし、学校経営ビジョン策定やその実現に参画する事務職員・学校事務のあり方に迫りました。

午前の部は塩谷地区により『「塩事研のキセキ」～一人一人のスキルアップを図るために～』をテーマに、今後、世代交代が必須なることを踏まえ、長年行ってきた班別研修からグループディスカッション中心の研修に変えていった経緯と実践報告、そして今後の課題について発表がありました。模擬体験として、研修紹介にもあった「危機管理」について、実際にグループディスカッション形式でお話をいただきました。また、ステージ上だけではなく、塩事研会員から「生の声」として、会場座席からカメラを使った中継形式による発表が行われました。また、会場ホールには実際に研修会で活用されたシート等も掲示されました。

午後の部は、「学校経営ビジョン実現に向けて」をテーマに、講演とパネルディスカッションの2部構成で全体研究会を行いました。

まず、兵庫教育大学大学院教授 日渡 円 氏より「事務職員の学校経営参画の在り方」についての講演が行われました。「教育委員会制度の改革や学習指導要領の改訂等により、学校が変化する中、子ども・保護者・地域のねがいや、学校の特色などをふまえて作成されたのが、学校教育目標である。またそれを達成するために、導く地図のような役割として学校経営ビジョンがある。そのビジョン策定から実現への営みに校長・教頭とともに事務職員も深く参画していくことが重要になる。」とのご意見をいただきました。

次に、日渡氏の講話内容を踏まえ、「学校経営ビジョンを実現していくために・・・できること」をテーマとしてパネルディスカッションが行われました。パネリストとして、兵庫教育大学大学院教授日渡 円 氏、日光市教育委員会学校教育課教育指導係主幹兼管理主事 岡本一穂氏、小山市立間々田東小学校主任 渡邊哲夫氏を迎え、コーディネーターは栃事研 岡崎会長が務めました。それぞれのお立場から事務職員の経営参画について意見が交換されました。

最後に、「事務職員一人一人が、共同実施組織が、今何をすべきかを考え、明日からの実践につなげていただきたい」との話があり終了しました。



### 地区発表を終えて

塩谷地区代表 塩谷町立塩谷中学校 蓼沼 稔

『「塩事研のキセキ」～一人一人のスキルアップを図るために～』と題して本地区で開催されている年6回程度の数年間に渡る実務研修を発表させて頂きました。内容については会員の希望を調査した結果を基に形態を変えていきました。研修の中で得た成果を少しでも自分が勤務する学校の教職員に還元できることが研修の目的の一つでなければならぬと思っています。

今回ご静聴頂きました会員の皆様の一助となりましたら幸いです。また、運営に当たられた下都賀地区の皆様に対しまして心より感謝申し上げます。

## ステージⅠ（基本的力量形成期）自己マネジメント研修

6月27日(金)栃木県学校生活協同組合会館にて、平成26年度ステージⅠ（基本的力量形成期）自己マネジメント研修を開催しました。採用1～3年目を対象に、「研修の体系化」に基づくステージ別研修として、今年度は18名の方が参加しました。

はじめに、岡崎会長から栃事研の活動・研修の体系化についての説明がありました。ステージⅠの事務職員に身につけて欲しい能力などについて示され、是非、積極的に学校経営に携わって欲しいとの話がありました。続いて、「自己マネジメントについて」の講義を伊藤副会長が行いました。これからの学校事務を担う皆さんに、「明るく素敵な事務職員になってください。」と願いが込められたお話がありました。

次にグループ演習を行いました。Actionシート①を利用し、1人で抱えていた悩みを共有するなど、積極的な意見交換が行われました。「先輩の話」として採用8年目の山ノ上主事から、自身の1～3年目当時の悩みや課題をどのように解決してきたかについて、体験談を交えてお話いただきました。その後のグループ演習では各自課題解決への方策を考え、話し合うことで解決のための手立てを見つけることが出来ました。

最後にActionシート②に、各自、研修の振り返りと現在抱えている課題解決のためにチャレンジしたいことについて考え、今後の目標をたて決意表明を行いました。



## ステージⅡ（職務領域拡充期）組織マネジメント研修



10月3日宇都宮市の富屋地区市民センターにおいて、採用4年目から9年目を対象にステージⅡ（職務領域拡充期）研修を開催しました。講師に成田市立公津の杜中学校事務長 三浦由起子様をお招きし、講義・演習を行いました。

始めに、講師の先生から「マネジメントの概要と必要性」について講義を受けました。組織マネジメントのポイントは「自らが変化し続けることである」そのために、問題点・課題を明確化し課題解決策をつくるのが大切だということを学びました。

その後個人・班別演習を行いました。まず始めの演習では、自己資源マップを作成し自らを取り巻く人的資源の構造を把握しました。つぎに、事前課題の「学校を回って発見したこと」「学校全体でがんばっている姿」を元に、学校の特色と自分の今の係わり方、これから取り組みたいこととその具体策について考えました。班内で各自発表をおこなった後、1つの取組を選び、具体策をさらに班で検討することで実践内容を深めることが出来ました。また、その実践を職員会議で提案する時の工夫についても話し合いをおこないました。

研修後には特色ある活動に対してどのように関わることが出来たか、具体的な取り組みについてActionシート③の実践レポートを提出していただきました。意欲的に実践に取り組んでいただきました。







## 栃事研セミナー

8月19日（火）宇都宮市のパーティとちぎ男女参画センターにて、43名の方にご参加を頂き、栃事研セミナーが開催されました。今回は「学校評価と事務部評価」をテーマに、講師に足利市立山辺中学校岡崎信二事務長を、アドバイザーに7名の方をお迎えし、講義と演習を行いました。事務部評価の項目の立て方や改善の手立てを身につけるため、実際の事務部評価結果を基に分析の仕方や分析結果の活用などの研修を行いました。

講義では主に学校評価や事務部評価の目的、重要性や活用についてお話をいただきました。その後で2名のアドバイザーから評価結果を基に改善に結びつけていった実践発表がありました。学校評価との関連性や実際の仕事にどのように反映させていくかなどの取り組みを聞くことで、評価について身近に感じることができました。グループワークでは、評価項目の設定、結果の分析の仕方、改善策へ結びつけていくための方法などを検討しました。アドバイザーから助言を受けながら演習シートをまとめ、最後にグループ発表を行いました。

難しいテーマではありましたが、ほどよい緊張感の中、活発な議論が行われ有意義な一日を過ごすことができました。



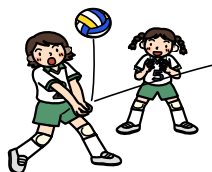
## 共同実施推進会議

1月19日（月）、学校生協会館にて共同実施推進会議が開催されました。県教委より篠崎管理主事、宇都宮市教委より小林係長にお越しいただき、県内各市町の共同実施推進リーダーなど76名ほどが参加しました。午前中は、共同実施の取組状況により5班に分けグループ協議を行いました。共同実施の導入や、ステップアップに向け積極的に、活発な議論が行われました。午後は、兵庫教育大学藤本孝治教授を講師にお招きし、リーダー研修を行いました。講演では、学校を取り巻く様々な教育課題や教育長、校長などのリーダーに求められる力量など、事務職員にも共通するものとしてワークシートを使いながら説明いただきました。最後に、「様々な学校課題を解決していくための情報を収集し、分析による現状把握をしっかりと行っていく

ことが大切である。」とのお話がありました。まとめの会では、吉田副会長から「今日の研修を推進のための“スタート”と捉え、共同実施について考え、実行してほしい。」岡崎会長からは「これまでと違い、“推進会議”として位置づけ、一日日程で実施した。今日の会議を受け、各支部での実践に結びつけていただきたい。ステップアップを図っていただきたい。栃事研はどのような形であってもお手伝いしていくつもりです。」とのまとめの言葉があり、終了となりました。



## 球技大会



8月11日(月)下野市立祇園小学校にて、第3回栃事研交流事業球技大会が開催されました。

競技は、前年度に引き続きソフトバレーボールでした。各支部から60名の方にご参加いただき、猛暑の中、熱戦が繰り広げられました。

支部混成チームで行われ、掛け声や応援の声も響き合い、和気あいあいとした雰囲気の中、親睦を深めることができました。

## 新加入会員紹介

新加入会員の皆様から一言いただきました！

宇都宮市立泉が丘小学校  
木村 有沙 (きむら ありさ)

1年間を無事に過ごせたことに安堵し、これも皆様のご支援があったからこそだと感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ未熟者ですが、今後ともよろしく願いいたします。

宇都宮市立横川東小学校  
大金 裕美 (おおがね ひろみ)

学校や事務職員の先輩方に、あたたかくご指導して頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。今年学んだことを来年に生かし、笑顔を忘れず仕事に取り組んで参ります。

宇都宮市立国本中央小学校  
安西 藍子 (あんざい あいこ)

色々な仕事を、先輩方にお世話になりながら一つ一つこなしてきたら、あっという間に落ち葉の頃になっていました。こどもたちのために少しずつステップアップしていきたいです。

宇都宮市立富屋小学校  
高柳 英明 (たかやなぎ ひであき)

今年1年は、多くの方に支えて頂いた1年でした。私はまだ未熟ですが、今後は周りの方の支えとなる事務職員になれるよう、精一杯努力していきたいと考えています。

宇都宮市立姿川中央小学校  
伊藤 孝朗 (いとうたかあき)

亡くなった父が、私が学校事務の職に就いたことをとても喜んでいたことを、印象深く思い出します。「学校の仕事は地域のため」という父の言葉を胸に、今後も頑張ります。

宇都宮市立陽南中学校  
関沢 秀之 (せきざわ ひでゆき)

たくさんの方に支えていただいた1年間でした。感謝しかありません。1年間ありがとうございました。

### 栃事研主催行事の案内

- ◆平成27年度栃事研研修会並びに総会
  - ・平成27年5月29日(金)宇都宮市文化会館
- ◆平成27年度栃木県公立小中学校事務研究大会
  - ・平成27年12月4日(金)栃木県教育会館
  - 運営地区(塩谷地区) 提案発表(那須地区)



宇都宮市立星が丘中学校  
鹿嶋 佑 (かしま ゆう)

仕事について始めは何をすれば良いのか分からず辛いこともありましたが、事務長さんをはじめとする周りの方々の手助けのおかげで何とかやってこられました。有難うございます。

鹿沼市立上粕尾小学校

矢野 貴久 (やの たかひさ)

期限に追われながら、ミスを繰り返しながら、それでもちよつとずつ進んでいると思いたいです。来年しっかりとできるよう、色々と記録を残していきたいと思います。

鹿沼市立板荷中学校

関根 里恵 (せきね りえ)

高校を卒業し新社会人に、でもまた学校に通うという不思議な気持ちだった4月。これまで何度も近隣校の事務職員さんに助けて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

真岡市立大内中央小学校

中沢 宏聡 (なかざわ ひろあき)

周りの事務長さんをはじめ多くの方に支えられなんとかこの1年を乗り切ることができました。温かいご指導と励ましにとっても感謝しています。ありがとうございました。

茂木町立逆川中学校

石川 瑛美 (いしかわ えみ)

周りの先輩方をはじめ、多くの方々の温かい励ましとご指導のなかで、充実した1年を過ごすことができました。感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきます。

壬生町立羽生田小学校

北野 沙也加 (きたの さやか)

小学校に赴任し、日々新しいことを学び学校行事等の運営に関わり、学校という場で仕事ができることを幸せに感じています。一層資質向上に努めていきたいと思っています。

小山市立大谷東小学校

橋本 友紀子 (はしもと ゆきこ)

事務職員となって、初めての1年も後半です。振り返れば、たくさん失敗をし、たくさん反省をした一年でした。今後は、今年の反省を生かし、立派に業務を行っていきたいです。

小山市立豊田南小学校

井上 大輔 (いのうえ だいすけ)

先生方や先輩事務職員の皆様に支えられ、学校事務職員として働くということを学べた1年でした。悩みや反省が多くありましたが、それらを次に活かせるよう努めていきたいです。

栃木市立赤麻小学校

板垣 敬丈 (いたがき けいじょう)

公私共に、多くの方のお世話になり、大過なく1年目を終えることができました。これもひとえに、皆様のご支援とご指導の賜物と、深く感謝しております。

足利市立大月小学校

中荒井 聖史 (なかあらい さとし)

何も分からないまま赴任した今年、教えていただくばかりの1年でした。来年からは、学んだことを活かして、自ら積極的に動けるように努めていきたいと思っています

足利市立梁田小学校

小川 佳士 (おがわ よしお)

人生の転換点となる大きな変化がある中で、反省点の多い1年でした。自省するだけでなく、反省した事を業務に活かすため、研鑽を積まなければならないと思いました。

足利市立筑波小学校

飯島 大樹 (いいじま だいき)

初めは何をするのにも不安でした。また、時間もかかってしまい1日がとても早く過ぎていきました。今でも審査前は不安ですがこれからも頑張っていきたいと思っています。

佐野市立南中学校

藤野 茜 (ふじの あかね)

1年があつという間に過ぎてしまいました。共同実施加配により事務長さんと仕事をする事ができ、毎日大変勉強になりました。次年度以降も初心を忘れず仕事に励みたいです。



ただいま広報部では、会員の活用できる事務処理プログラムなどのデータを募集しています。一つのプログラムが多くの会員を支援することになりますので、皆様のご協力をお願いします。

ご提供いただける場合は、hp@tochijiken.org まで送信してください。

ご不明な点は、広報部長(西那須野中学校 高野)までお問い合わせください。

INFORMATION